

サステナビリティ・ウィーク
2008 - G8サミットラウンド

環境と健康 変動する地球環境と 人の暮らし

2008年7月3日(木)・4日(金)

場所:北海道大学学術交流会館小講堂(1F) 札幌市北区北8条西5丁目

参加無料
申し込み不要

7月3日(木)

《シンポジウム1》

13:00~15:00

「温度環境への適応 地球温暖化と人の健康」 座長:彼末一之(早稲田大)

ヒトの生活と温熱環境 彼末一之(早稲田大)
温熱環境の設計 - 「快適」なら良いか 堀越哲美(名古屋工大)
熱中症の脅威 朝山正己(中京女子大)
大規模環境変動と寒冷適応 - 冬眠動物が教える解決策? - 橋本眞明(旭川医大)

《特別講演》

15:15~16:00

Life on a Rotating Planet –
Challenge and Opportunity

座長:本間研一(北海道大)
S.Daan (Groningen Univ.)

《シンポジウム2》

16:15~18:00

「環境を知る体の時計」

座長:本間さと(北海道大)

季節を知る脳の時計 吉村 崇(名古屋大)
Long term impact of cultural environment on
biological clocks and environmental sensitivity ... J.Dittami (Univ.Vienna)
南極におけるヒト概日リズムと環境適応 米山重人(井上病院)

7月4日(金)

《シンポジウム3》

9:30~11:30

「24時間社会と健康:不眠社会への警鐘」 座長:大川匡子(滋賀医大)

現代社会の国民病 - 不眠症 大川匡子(滋賀医大)
過眠症と現在社会 西野精治(Stanford Univ.)
高齢者のライフスタイルと睡眠問題 三島和夫(国立精神神経センター)
子ども(=未来)を触む夜ふかし国家 神山 潤(東京北社会保険病院)

《特別講演》

11:45~12:30

Sleep and Policy:
New Findings and
Opportunities

座長:佐々木三男(慈恵医大)
W.C. Dement (Stanford Univ.)

《市民公開講座》

13:30~16:30

「現代社会と健康障害:その予防と対策」 座長:西村正治(北海道大)
岸 玲子(北海道大)

《基調講演》

持続可能な環境・社会と私たちの健康... 岸 玲子(北海道大)

子供のうつ - その臨床的特徴と治療について - 傳田健三(北海道大)
アレルギーと環境 - アレルギー増加の背景を考える 檜澤伸之(筑波大)
現代人のライフスタイルとメタボリックシンドローム 辻 昌宏(北海道医療大)



主催: 北海道大学大学院医学研究科

連絡先: 本間さと(生理学講座) / TEL.011-706-7871